

北平各報社聯合會 啓 第八十二號

第四條 政府管理條例規定之依，金銀外，財產
之以下財產，目的上區分場合之依，財產，價格之
二，三，其之樣式，數目，價值等事項，規定之依，金銀
外，財產，以之，所有之樣式，樣金，樣式，二，三，以
場合之依，財產，價格，政府，財產，評價
委員，會，議，決，定，之

Doc 439

政府出資新產業計畫委員會三國同盟之助金を以て之

則

第七條 北支那開發株式會社ニ非ずして、北支那開發株式會社又ハ之ニ類似名稱を以て其商號を濫用し得ず

第九條 北支那開發株式會社ニ總裁一人、副總裁二人、理事五人以上五十五人以下を置く

第十條 總裁ハ北支那開發株式會社ノ代表者ナリ、業務ヲ

總理ス

第十一條 總裁ハ副總裁ハ總裁ノ經手事務及命令其ノ任

期ヲ五年以上

第十三條 總裁ハ副總裁ハ總裁ノ經手事務及命令其ノ任

期ヲ五年以上

第三章 業務

第十四條 北支那開發株式會社ハ左ノ事業ヲ主要トシ、二

種ノ投資又ハ融資ヲ爲シ、其ノ經營ヲ統合調整スルヲ

トス

一 交通運輸及地產三國同盟事業

二 通信三國同盟事業

三 發電三國同盟事業

四 銀行三國同盟事業

No. 2

Doc 434

五 應：製造、數量及利用二面言之者
六 所產物、外此又即一序也經濟問題
經濟問題之必要上不言其

手續多煩、易會之、人化更即開學
經濟問題、而學各點現之、其言其言
其言其言、此等、其言其言、其言其言
其言其言、其言其言、其言其言、其言其言
其言其言、其言其言、其言其言、其言其言

第四章 經濟問題之重要

第五章 經濟問題之重要
其言其言、其言其言、其言其言、其言其言
其言其言、其言其言、其言其言、其言其言
其言其言、其言其言、其言其言、其言其言
其言其言、其言其言、其言其言、其言其言
其言其言、其言其言、其言其言、其言其言
其言其言、其言其言、其言其言、其言其言
其言其言、其言其言、其言其言、其言其言

Nov

第六章 經濟問題之重要

Loc 439

認可受入

第三條 政府は支那銀行、元本、償還、利息、支拂、
二付保証を主として得

第三章 政府監督及助成

第二十條 政府は支那銀行株主會社、業務を監督す

第二十一條 北支那銀行株主會社は借入金、元金、利息、支拂、
政府認可受入

第二十二條 定款、章程、合併、解散、決議、政府認可
受入、非がら其、政府認可受入

第二十三條 北支那銀行株主會社は政府認可受入、
がら利益金、命令、主として得

第二十四條 北支那銀行株主會社は母體業、子業、
融資、自主管理、業、政府認可受入、主として得、
之、政府提出、認可受入、主として得、
主として得

第二十五條 政府は北支那銀行株主會社、業務、
主として、北支那銀行株主會社、
調整、主として、命令、主として得

164

前項規定に依り、本防上必要とし命令を爲さるるに於て、
本防上利益に定むる所を依り、之を四、三、三と爲す。又、補償

前項、補償を付するに命令を爲すに因り、要する補償金

総額を市議会、協議員を経る金額を、二、三と爲す。

前項、補償を付するに因り、要する金額を、二、三と爲す。

第三條 政府、本防上開業株式會社、二、三と爲す。

前項、本防上開業株式會社、二、三と爲す。

前項、本防上開業株式會社、二、三と爲す。

前項、本防上開業株式會社、二、三と爲す。

前項、本防上開業株式會社、二、三と爲す。

第四條 政府、本防上開業株式會社、二、三と爲す。

前項、本防上開業株式會社、二、三と爲す。

第五條 政府、本防上開業株式會社、二、三と爲す。

前項、本防上開業株式會社、二、三と爲す。

前項、本防上開業株式會社、二、三と爲す。

前項、本防上開業株式會社、二、三と爲す。

4390

Doc

第三條 北支那開發株式會社（以下稱「北支」）
依「開業」年及其翌年（即三十四年）所得之所得
法人稅及營業稅之免除又

第十四條 規定三條（即「北支」）
北支開發株式會社（甲種）就其所得之三十分額
規定之法人稅及營業稅之免除期間內（即三十分額）
（以下稱「北支」）所得稅之課税又

1166

No 439

北支那開發株式會社定款

北支那開發株式會社

No 7

200 439

北支那開發株式會社章程

昭和十四、三、二日、支那駐日公使館 第六條

“一、四、十二、十六、臨時” 第三條第三項

“五、二、三、三九、完結” 第五條、十四、十二、十六、十七、十九、二十

條三條第三項、第四條、第五條、第六條、第七條、第八條

昭和十四、三、二日、支那駐日公使館 第六條

頭、第四條、第五條

昭和十四、三、二日、支那駐日公使館 第六條

第三條、第四條、第五條、第六條、第七條、第八條、第九條

第十一條第三項(通則) 第十二條、第十三條、第十四條

第十五條第三項(通則) 第十六條、第十七條、第十八條、第十九條

昭和十六、三、二日、支那駐日公使館 第六條

第三章 總則

第一條 本會社之宗旨、在於開發北支那、並經營其事業、

並經營其事業、

第二條 本會社之組織、依本章程、及支那法律、

並依支那法律、

第三條 本會社、資本、總額、定為、一千萬元、

第四條 本會社、資本、總額、定為、一千萬元、

第五條 本會社、資本、總額、定為、一千萬元、

第六條 本會社、資本、總額、定為、一千萬元、

第七條 本會社、資本、總額、定為、一千萬元、

第八條 本會社、資本、總額、定為、一千萬元、

第九條 本會社、資本、總額、定為、一千萬元、

事項ヲ掲載スル新聞紙以テ之ト爲ス

第三章 株式

第1條 本會社ノ株式ハ、百圓ノ爲メ、一圓ノ金銀ノ中、田ノ

本會社ノ株式ハ、記名式トス

第2條 政府ハ、財産ノ出資ニ金銀ハ、金銀價目三圓ノ

十圓ニ對シ金銀ハ、株式ニ對シ三圓ノ七角五分トス

(鐵道) (橋梁) (運河) (開闢) (他事業)

軌道並ニ鐵道敷設ノ他事業敷設ノ三所ニ對シ

物件 石價目三圓ノ十圓ノ十圓

第3條 本會社ノ株式ハ、一圓ノ爲メ、百圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、

株式ハ、七種トス

第4條 本會社ノ株式ハ、必シ政府ノ許可ヲ得テ發行スル

株式ハ、百圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、

株式ハ、百圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、

本會社ノ株式ハ、必シ政府ノ許可ヲ得テ發行スル

株式ハ、百圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、

株式ハ、百圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、

株式ハ、百圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、

株式ハ、百圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、

株式ハ、百圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、

株式ハ、百圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、

株式ハ、百圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、

株式ハ、百圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、

株式ハ、百圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、一圓ノ爲メ、

100 439

100

10 10

Doc 439

ア、タ、ト、ハ、本、同、ア、商、同、二、住、所、又、ハ、居、住、ヲ、有、ス、ル、株、主、及、
債、権、者、又、ハ、ハ、商、同、二、住、所、又、ハ、居、住、ヲ、有、ス、ル、株、主、及、
之、ヲ、本、會、社、ニ、同、シ、電、信、ノ、ハ、通、ス、ル、ハ、亦、同、シ、

東、西、系、株、主、讓、渡、二、因、リ、株、主、名、義、書、換、ヲ、サ、シ、タ、ル、ト、キ、株、
會、社、有、限、公、司、之、株、主、名、義、書、換、者、ハ、証、明、書、印、也、ハ、西、面、ヲ、
作、成、シ、之、株、主、及、本、會、社、ニ、於、テ、交、付、シ、認、可、シ、証、據、書、
類、ヲ、添、付、シ、本、會、社、ニ、請、求、ヲ、ス、ル、但、シ、株、主、名、義、書、
依、ハ、讓、渡、二、因、リ、キ、ハ、取、得、者、ノ、ニ、テ、ハ、請、求、ス、ル、コ、ト、ヲ、得、
債、権、者、登、録、信、託、財、産、ノ、表、示、者、ハ、之、ヲ、請、求、ス、ル、コ、ト、
ハ、場、合、ハ、之、項、ニ、進、ム、本、會、社、ニ、其、ノ、請、求、ヲ、ス、ル、ハ、以、下、
相、續、シ、他、事、由、ニ、因、リ、名、義、書、換、場、合、ニ、在、リ、シ、キ、

第、十、五、條 株、主、名、義、書、換、者、ハ、讓、渡、二、因、リ、株、主、名、義、書、換、
コ、ト、サ、シ、タ、ル、株、主、名、義、書、換、者、ハ、讓、渡、二、因、リ、株、主、名、義、書、換、
本、會、社、ニ、提、出、ス、ル、
株、主、名、義、書、換、者、ハ、本、會、社、ニ、提、出、ス、ル、株、主、名、義、書、換、
判、決、ハ、株、主、名、義、書、換、者、ハ、本、會、社、ニ、提、出、ス、ル、株、主、名、義、書、換、
請、求、ス、ル、コ、ト、ヲ、得、

本、十、六、條 株、主、名、義、書、換、者、ハ、讓、渡、二、因、リ、株、主、名、義、書、換、
料、信、託、財、産、表、示、者、ハ、之、ヲ、請、求、ス、ル、コ、ト、
五、十、銭、ト、シ、株、主、名、義、書、換、者、ハ、讓、渡、二、因、リ、株、主、名、義、書、換、
新、株、主、名、義、書、換、二、因、リ、五、十、銭、ト、ス、
本、十、七、條 本、會、社、ハ、十、月、ヨ、リ、定、時、株、主、名、義、書、換、者、ハ、讓、渡、二、
因、リ、株、主、名、義、書、換、者、ハ、讓、渡、二、因、リ、株、主、名、義、書、換、
及、シ、株、主、名、義、書、換、者、ハ、讓、渡、二、因、リ、株、主、名、義、書、換、

Doc 439

第三章 株主総会

第1条 本會社、定時株主総会毎季三臨時株主總會、必要
 毎二總裁又ニ召集ニ 總會、臨時場所及會議、自
 々事項ハ總裁又ニ定ム 總會、召集ハ戰時ニ限
 株主三割ハ通知ヲ受ケ、自ヨリ三週間ハ總會ヨリ開
 ヲケ、及會議、自ヨリ各事項ヲ公告シテ之ヲ決ス
 第2条 總會、總裁ハ總裁ニ召集シ、總裁ニ決ス、別
 裁中、人之三割ハ總裁ニ召集シ、總裁ニ決ス、別
 々分掌ス、理事中、人之三割ハ 總會、議決ハ株主
 三割ハ議決權ヲ行使スルコトヲ妨ケズ

第3条 株主、本會社、何、株主委任シテ、議決權ヲ行使ス
 得、此場合ニ於テ、行使權ヲ証明ス、委任狀ヲ
 本會社提出ス

第4条 總會、決議、出席シ、株主ノ議決權ハ、選舉權ニ準
 テ、行使ス、右同數ニシテ、議決權ハ、前ニ依リ、
 定款ノ変更、他、附屬ホ、三三條ニ定ム、決議、要ス
 當頭、戰時ニ限リ、各事項、額、水ニ當ル株主出席シ、
 議決權、選舉權ヲ以テ、行使ス、モ、ト、事、其條、規
 定ニ依リ、行使ス、コトヲ得、ザル議決權、數、ハ、或
 項ノ議決權、數、ニテ、算入セザルモ、トス

第5条 定款ノ変更、合併、及解散、決議ハ、政府、認可
 要ス、ルニ非ザル、バ、ノ、効力ヲ生ゼザルモ、トス

第6条 株主、二、左ニ掲ゲル事項ハ、戰時ニ限リ、總會、決議、
 依ルコトヲ要セザルモ、トス

一、又、右、新設、廢止、又、移轉ニヨリ、又、住所、他、地、三、間、又、定款

11

500 439

変更
 一、資本、二千五百圓、超上計時價、以千五百圓、
 三、資本、二千五百圓、超上計時價、以千五百圓、
 全部、譲渡
 四、役員、受、受、報酬、決定、
 第五章、役員

第三十條、本會社、總裁一人、副總裁一人、理事五人、以上、
 二人、以上、理事

第三十一條、總裁、本會社、代表、事務、總理、又
 總裁、事務、執行、副總裁、本會社、代表、事務、執行、
 職員、以上、其、職務、執行、副總裁、總裁、輔佐、
 總裁、定、定、定、定、定、定、定、定、定、定、定、定、
 理事、本會社、代表、事務、執行、副總裁、總裁、輔佐、
 為、本會社、代表、事務、執行、副總裁、總裁、輔佐、
 定、定、定、定、定、定、定、定、定、定、定、定、

第三十二條、總裁、副總裁、職務、執行、本會社、代表、事務、
 以上、其、職務、執行、副總裁、總裁、輔佐、
 以上、其、職務、執行、副總裁、總裁、輔佐、
 以上、其、職務、執行、副總裁、總裁、輔佐、
 以上、其、職務、執行、副總裁、總裁、輔佐、
 以上、其、職務、執行、副總裁、總裁、輔佐、
 以上、其、職務、執行、副總裁、總裁、輔佐、

第三十三條、總裁、副總裁、職務、執行、本會社、代表、事務、
 以上、其、職務、執行、副總裁、總裁、輔佐、
 以上、其、職務、執行、副總裁、總裁、輔佐、
 以上、其、職務、執行、副總裁、總裁、輔佐、
 以上、其、職務、執行、副總裁、總裁、輔佐、
 以上、其、職務、執行、副總裁、總裁、輔佐、
 以上、其、職務、執行、副總裁、總裁、輔佐、

50 43

Doc 439

所有者、請求三條、記名式トナ事ヲ得トナ
第三條止又開業債券ノ所有權ハ本會社ノ財産ニシテ債權者
ニ先テ自己ノ債權ノ弁済ヲ受クハ權利ヲ付スルモノナ

第三條本十五條第三項ノ規定ハ無記名止又開業債券ニ適用
スル場合ニ準用ス記名止又開業債券ヲ賣入ルモノト
キハ、事由ヲ詳記スル書面ヲ作成シ本會社ニ送付シ、
適當ト認め保記人ニ人外上惠シ、外子本會社ニ
新債券ヲ交付シ請求スルモノトナ得。

第四項、請求ヲ行ハルモノトキ本會社ニ請求書ノ送付ヲ要
スルモノト目テ公告シ六十日ヲ経ルニ無異議ヲ申立ツル
者ナキトキ二限リ新債券ヲ交付ス

第三十五條 記名止又開業債券ノ名義書換場合ハ本十五條ノ規定ハ
止又開業債券ノ毀損又毀滅シタ場合ニ本十五條
一項ノ規定ハ止又開業債券ニ關スル記録ニ本十五條
規定ハ之ニ準用ス

第七章 計 算

第三十六條 本會社ノ營業年度ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日
第三十七條 本會社ノ利益金ハ當該年度ノ營業年度ノ總決算時
ヨリ、繰入金(金)ヨリ、繰入金(金)政府ノ償還金(金)
ヲ控除シタル残金トナ

第三十八條 本會社ノ利益金ハ、万金ニ依リ政府ノ認可事項
ノ實施ノ下ニナ

- 一 法定準備金、利益金ノ百分之一以上
- 二 従業員退職金積立金、利益金ノ百分之一以上
- 三 納税積立金、四 役員賞与金

NO 14

100434

15

五株主配当金 六特別積立金 七後期繰越金

第三十九条 本會社（相當事業年度）に於ける配當に得べき利益金額が政府以外（者）所有する株式、払込金額三割に其百分六、割合を達するに近政府（所有する株式）に利益を配當するところを要せざること

第四十条 本會社（相當事業年度）に於ける投資、融資及び自営事業三因に收る投資、融資及び自営事業利益金（総額）三割に割合（以下收入割合と称す）が其百分六を達するに未（政府より）若し三當事業年度に於ける各金額合計額を限度として配當に得べき利益金額が政府以外（者）所有する株式、払込金額三割に其百分六、割合を達するに近し不足額を相当する金額を補給するに要せざること

一 投資、融資及び自営事業利益金（総額）中政府以外（者）所有する株式、払込金額三割に其百分六、割合を減じたる差額を得べき金額

二 投資、融資及び自営事業利益金（総額）中社債（社債が借入金を含む以下同）三割に其百分六、割合を減じたる差額を得べき金額

相當事業年度に於ける配當に得べき利益金額が政府以外（者）所有する株式、払込金額三割に其百分六、割合を超過するに未（超過額）先づ第一項を補給金（償還）を充つるに要せざること

第二項 投資、融資及び自営事業三因に收る投資、融資及び自営事業利益金（総額）中政府以外（者）

1004309

所有株式ノ松父金額ニ依リタリ部令及社債収入金額ニ依
リ部令ノ計算方法ニ依令定ル所ニ依ルモノトス

第五條 本會社毎箇年度ニ於テ配當ニ得ベキ利益金額
額及政府外ノ者ノ所有株式ノ松父金額ニ對シテ年
百ノ一ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テ政府外ノ者ノ所
有株式ニ對シテ年百ノ一ノ割合ヲ超ス利益配當ヲ
スルモノトスノ超過スル利益金額（利益配當額）
額ニ依リ松父ニ對シテ株金額ニ對シテ割合ニ違ハ
ス政府外ノ者ノ所有株式ノ松父金額及政府
ノ所有株式ノ松父金額ニ對シテ年百ノ一ノ割合ニ
之ヲ配當スルモノトス

第六條 松父配當金ハ且日現在ノ株主名簿ニ登錄セ
タル株主又ハ債權者ニ之ヲ支払フモノトス配當金ノ取
渡期日及場所ハ決議ノ定ム株主又ハ債權者ニ
通知スルモノトス

第七條 本會社ノ會社費及三歸入金ノ設立費用ハ千五ノ用ニ
附屬金及方項金額中政府ノ立替ニ依リテ政府ニ
之ヲ返納スルモノトス

第八條 本會社及子會社ヨリ同業ニ對シテ且至ニ期間ハ
昭和十五年乙年度ノ終ニ

終

1004309

439.

W D C

証明書

I P S 四三九号

出所及確実性・認証

私、高橋ミナトシ、私が元、権能以下即ち内閣書記官
として正式に日本政府に所属し、職掌として、証明書・捺印、
捺印・成、一九三八年四月三十日附、北支那南支那株式會社
(獨逸・外務省に於て書手加へしモノ)・此書類を保管せし
こと証明す

尚、私、内閣書記官・記録・及書類、日本政府、公文書として、
下掲の省乃至、局、——即ち内閣、——正式、記録係
存所、及公文書綴入、一部(綴入番号乃至、列記、
書類、記録保存所乃至、公文書綴入、外、在、場所、示
す何處か、正式、指示、以下可)・此こと証明す

一九四六年七月十日

於東京

No. 1

署名 高橋 ミナトシ (印)
職能 内閣書記官
証人 栗山 久

439

正式入手、証

私、ヒロアーク・P・モーハ、我が聯合金融司令部、
所屬之上座、書類ヲ上記、日本政府官吏、手記ハ
於上正式ニ入手セシメテ証ス

昭和六年七月十日 於東京

姓名 ヒロアーク・P・モーハ (署名)

職能 一P.の調査員

証人 カリヤウ プラサト (署名)

Doc 439

聯合軍總司令部

國際檢事局

書類番号 四三九

一九四六年五月二十六日

証明書

私、ウィリアム・M・マクニッシュは、聯合軍
總司令部、國際檢事局に所属し、この
証明書に添付された十四頁から成る
が支那南發株式會社法と題する日附
の書類は、私自身、文頭に掲げたる年月日に
國際檢事局の一員たる権限において、必
ず、正式に次の様式によつて即ち（入手せ
る場所及び相手方責任者名、書類を入手
せる日本の記録保存所、記録書類、公文
書綴込等をも記載あらはし可）日本政府
外務省において入手せるものなることをこ
ゝに證明す

姓名 ウィリアム・M・マクニッシュ

階級又は職能 J.A.G.D. 中尉

所属

0-110511210